

鹿児島商工会議所 〒892-8588 鹿児島市東千石町1番38号
TEL:099-225-9500 FAX:099-227-1619
http://www.kagoshima-cci.or.jp E-mail:soumu.kcci@sage.ocn.ne.jp
令和7年9月1日発行(毎月1回1日発行)



深田神社(いちき串木野市野元)

NPO法人がこしま探検の会 東川 隆太郎

春祭りとして開催されるガウンガウン祭で有名な神社。御祭神はヒコホデミノミコトと菅原道真公で創建年代は不明。ただ、創建されたのは現在地ではなく、神社近くを流れる深田川上流の深田上の地域であったという。約300年前に大洪水が発生し、社殿や御神体などが流出。その際に神鏡は下名の舟田にある田平の滝に流され、そのためにこの滝の淵は鏡淵と呼ばれるようになったという。また社殿の唐猫も流されたと伝えられている。

現在地に鎮座したのは明治初年とされる。この地は五反田川の下流にあたり、川幅が広がったことから対岸への渡し舟が運航していた。その渡しが望める海岸段丘に鎮座することになったという。また、明治44年には平江にあった菅原神社を合祀したことから、御祭神に学問の神である菅原道真公も祀られるようになった。境内には、末社として火産靈神を祭る社殿が安置されている。火のつぼだんの通称と呼ばれ、御神体として自然石が鎮座している。さらに馬頭観音も祭られ、牛馬を飼育する人々の信仰を集めている。

冒頭で登場したガウンガウン祭という少し珍しい名前の行事について紹介したい。現在の名称はガウンガウンであるが、昔はウブシナサア祭とかウスナドン祭とも呼ばれていたという。ではなぜガウンガウンになったかといえば、この祭に登場する牛の引く道具の鍬にちなむという。クワクワがいつのまにはガウンガウンになったとのこと。春祭としてここでは「田植え」の劇が境内で展開される。まずテチョと呼ばれる男が登場し、田起こしをする。それを子供たちが小さな鍬でいたずらしながら引っつけようとする。その際テチョが倒れると豊作という。その後、太郎と次郎が登場してひとが扮した牛を手なずけようとするが牛は暴走するなど大騒動を演じる。こうしてドタバタしながら田植えを表す滑稽劇が祭のクライマックスである。その後には婦人会の手踊りも登場してさらに賑やかになり、祭に花を添える。

現在は3月2日前後の日曜日に開催されるユーモラスな行事。参拝とともに触れてほしい伝統芸能のひとつである。



由緒のあるふるちよのお社